



TAKASU

ふるさと通信 令和3年冬号 — 北海道 鷹栖町からみなさんへ



1. 店内には新鮮な町産野菜が並び
2. みらい(Mirai)のパンは町民に大人気!
3. 左から日比一義さんと藤弘温さん
4. 高齢者の生活を支えている宅配サービス

—大切にしているのは、 お客さんの思いに応え続けること

平成12年4月に鷹栖町鷹栖地区のメインストリートに中央地区から移転オープンした「地産地消の店 チコリ」。

社会福祉法人鷹栖共生会が、障がい者就労支援を目的として開店しました。

チコリでは現在5名の従業員と2名の就労者が働いており、就労している方は、商品の陳列作業のみならず、給食に使用する食材を町内の学校に配達する作業なども行っています。

就労支援係長の藤弘温ふじひろ ぬんさんは「チコリに来店してくださるお客さんの多くは、就労されている方に対してやさしく接してくださるため、お店の雰囲気も明るく、活気がありますよ」と笑顔で語ります。

店内には、「オオカミの桃」などの鷹栖町の特産品のほか、町内産の新鮮な野菜から日用品まで、町民の生活を支える商品がずら

りと並んでいます。

中でも目玉商品は、同じく鷹栖共生会が運営するベーカリーショップ「みらい(Mirai)」のパンと、手造り豆腐料理の店「伝承館」の豆腐です。

みらい(Mirai)のパンは、北海道産の小麦を使用しており、安心安全でおいしいメロンパンやチョココロンなどを購入することができます。

鷹栖町産の大袖振大豆を使っている伝承館の豆腐は、甘味の強い昔ながらの味に仕上がっているのが特徴。町外の方がチコリを訪れて購入することもよくあるそうです。

高齢者が多く住む鷹栖町。宅配サービスを無料で行っている点も、チコリの大きな魅力です。宅配サービスを利用される方からは「冬は吹雪くため、買い物に出かけることが難しいけれど、チコリさんが宅配してくれるおかげで生活することができます」との声も。



2



1



その日の午前中に注文があれば、同日には届けるそうで、「何よりもスピード感を意識しています。宅配時に直接お礼を言われることが多いので、それを日々励みに頑張っています」と店長の日比一義さんは真剣な面持ちで話します。

また、店内に置いていないものでも、お客さんの要望があればすぐに仕入れるなど、お客さんの

ニーズに寄り添う姿勢も、チコリが町民に愛される理由のひとつかもしれません。

特売日など、お得な情報はチコリの公式インスタグラムで確認することができます。

気軽に寄って、楽しくお買い物ができる「地産地消の店 チコリ」。

ぜひ、足を運んでみてください。

社会福祉法人 鷹栖共生会 地産地消の店 チコリ

鷹栖町南1条2丁目
TEL 0166-87-3455
営業時間 9:30~18:00
定休日 日曜日



HP



Instagram



一人と自然との距離を縮める そんなお店を目指したい

鷹栖町北野地区の自然豊かな森のなかに、ひっそりと佇む焼き菓子店「THOREAU」。今年の8月にオープンしたばかりの新店です。

店内へ入ると、オーナーの川原未央みおさんが優しい笑顔で出迎えてくれました。

川原さんは旭川市からの移住者。結婚を機に鷹栖町に移り住みました。

「いつか自分で焼き菓子のお店を持ちたい」という思いを抱き続けて数年が経った昨年6月、町内の大工さんの紹介により、現在のお店となる物件と出会い、その日のうちに購入を決めたそうです。

家屋の改修を友人に手伝ってもらい、森の中に小さな小屋のようなお菓子屋さんが完成しました。

THOREAU
×
川原 未央



1



2

- 1.自然の中でゆったりと過ごせる、川原さん自慢の店舗
- 2.町産のニンジンを使用した「キャロットケーキ」

ソロー 焼き菓子店 THOREAU

鷹栖町15線7号

TEL:090-6442-5990

Mail:info@yakikashithoreau.com

open:木.金.土.日 11:00-17:00



HP



Instagram

お店の名前の由来であるアメリカ合衆国の作家、ヘンリー・デイヴィッド・ソローの著書を読んだ川原さんは、彼の自然と寄り添った生活スタイルに感銘を受けたといい「ソローのように森の中で労働に勤しみ、自然と共生する生き方を目指しています」と熱く話します。

お店のインテリアは余計なものが一切なく、シンプルそのもの。窓からは

白樺をはじめとする美しい木々を眺めることができ「外界の雑多な情報から離れ、自然と向き合う時間をお客さんにも味わってほしい」とのこと。

店内には、道内や町内の生産者が作る新鮮な野菜などを使った、季節のお菓子が並んでいます。

毎週月曜日に食材の買い出しに行き、火・水曜日の2日間かけて仕込みを行うという川原さん。木曜日の開店

と同時に常連さんが笑顔でやってくる姿を見ると、今最も幸せな瞬間だそう。

オープンしてから、まだ数カ月。「焼き菓子と自然を通して、お客さんと気持ちを通じ合える。そんなお店にしたいです」と最後に語ってくれました。

in パレットヒルズ

たかスノーランドがOPENします！

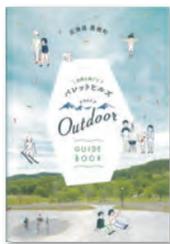
今夏のパレットヒルズではキャンプなど、多くの方にご利用いただき大盛況に終わりました。でも、冬のパレットヒルズだってとても面白いんですよ！

12月25日(土)に「たかスノーランド」がオープンします。何して遊ぶ？大人も子どもも楽しみ方は無限大！色んなアクティビティを体験して、雄大な大自然の中で、思いっきり“雪遊び”を楽しみましょう！



- パレットヒルズで楽しめるスノーアクティビティ
 - ・クロスカントリー(1km・2km・3km・5km)
 - ・スノーシューハイク
 - ・雪板
 - ・スノーチューブ滑り
 - ・ファットバイク
 - ・冬キャンプ(大人1泊300円)
- 無料レンタル
 - ・クロスカントリースキー一式(靴18cm~28cm)
 - ・スノーシュー(3歳児~大人)
 - ・雪板
 - ・スノーチューブ
- 有料レンタル
 - ・ファットバイク 30分150円
 - ・焚き火台 1,500円
- 販売
 - ・薪(コンテナ1個)1,200円

詳細は鷹栖町の公式
ホームページをご覧ください。



パレットヒルズのガイドブックを
リニューアルしました！



冬のさまざまな
アクティビティの
情報が盛り
だくさん！！



メロディー橋が開通40周年を迎えました！

昭和56年11月に建設された北野橋(メロディー橋)。

鷹栖町最後の永久橋の建設とされたことから、当時の鷹栖町長である小林勝彦さんが「建設費用の一部を活用して何か特色のある橋とするように」と担当者に指示。

北野小学校の児童の通学路でもあったため、子どもが傘を持ちながら歩く際に橋の欄干などで音を出しながら歩く様子にアイデアを得て、担当者が「音を奏でる橋」を考案。歩きながら鉄琴を叩くと曲を奏でるという橋を建設しました。曲は童謡の中から、放課後に帰宅する児童が楽しめるようにと「夕やけこやけ」を選曲。

日本で初めての「メロディーを奏でる橋」ということで広く取り上げられ、そのことから通称「メロディー橋」と呼ばれるようになり、町内ではその後、メロディーホール、ハーモニータウン、シンフォニータウンなど、各施設に音楽に関する名称がつけられるようになりました。

40年の時を刻んだ北野橋(メロディー橋)は、これからも町民の方々に愛される橋として、永く活用されることでしょう。

「新郷土たかす第60号」が発刊されます！

昭和37年4月に「文藝鷹栖」として、創刊され、半世紀にも渡り発刊されている「新郷土たかす」。

町民で構成される「新郷土たかす編集委員」により1年に1回編集・発行されている郷土誌です。

創刊から60年目の記念すべき第60号は、特集として「であい」をテーマにしたエッセイのほか、「鷹栖における農業のこれから」を題材とし、偉大な先人たちが築き上げてきた足跡を若い継承者たちが時代の変化に対応しながら、今後どのように担っていくのか。そんな内容を予定しています。

発刊は令和4年3月。乞うご期待ください！

鷹栖町
ふるさと
まちづくり
応援寄附

【令和3年度の寄附】

件数:2,052件
金額:49,375,000円
(R3.4～R3.10月末)

◀ふるさとまちづくり
応援基金を令和3
年度の町の活動に
活用させていただ
いています。



令和3年7月17日に、ファットバイクや電動自転車ですサイクリングツアーを行い、子どもから大人まで4名が参加しました。初めにパレットヒルズを出発し、北斗地区で開催された「花かいどう朝市」で野菜などを購入しました。その後、北成地区の「黒実鶯神楽(くるみのうぐいすかぐら)」でブルーベリーの収穫体験を行い、鷹栖の夏を満喫しました。

このツアーに使用したファットバイクや電動自転車は、令和2年12月のzozo創業者・前澤友作さんによる500万円の高額寄附を活用し、購入しました。

～鷹栖の情報発信中！～

FacebookとInstagramでまちの新鮮な情報を発信しています。ぜひ、「いいね！」をお願いします♪また、鷹栖町ふるさと納税の返礼品を、ふるさとチョイスと楽天ふるさと納税の2つのサイトで閲覧することができます。



町ホームページ



Facebook



Instagram



ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税